

加賀市公立保育園再編基本計画（改定版）の 策定について

加賀市公立保育園再編基本計画(改定版)の策定について

計画改定の背景・趣旨

- 現行計画は、コロナ禍・能登半島地震によるこどもたちの心身の影響に配慮し、計画を2年間延長し、この期間で計画を見直し
 - ・ 計画期間：平成28年度 - 令和6年度 → 令和8年度
 - ・ 休園基準：入園見込み児童数が10人未満 → 画一的な対応とらない
- 現行計画の期間中における、急激な少子化の進行をはじめとした保育を取り巻く情勢が大きく変化
 - ・ 市全体での保育資源が過剰供給
 - ・ 保育指針にある「集団の中での経験」の保障が困難
- 計画期間の延長に伴い、公立保育園施設の老朽化が進行
 - ・ 建築後50年以上の施設が複数
 - ・ 再編を見据えて大規模改修など必要な改修が未実施施設あり

加賀市公立保育園再編基本計画(改定版)の策定について

■ 保護者アンケートの実施

【調査期間】 令和8年4月10日～4月20日

【調査対象者】 保育園等に在園している児童の保護者

【回収率】 約75%(810/約1,080)

市内公立保育園232件/市内法人立保育園等578件

【調査内容】 基本属性/利用状況/保育環境/特別保育/公立園の在り方（公立園保護者のみ）

■ 保育者へのヒアリング（5月中）

現場の課題や必要とする支援を抽出するため

■ 法人立保育園との協議（5月1回開催、以後2回程度）

再編の方向性を公私協働で検討するプロセスを設けることで、再編後の保育インフラに対し、納得感と責任感を持ちながらサービス提供を行える体制を目指す。

①持続可能な保育ネットワークの構築

②役割分担（公私分担）の再定義

■ 今後のスケジュール（予定）

・6月10日（水） 諮問

・6月11日（木） 令和8年度第1回こども分科会（骨子案）

（基礎データ、課題と対応（方向性）、保育者ヒアリング、保護者アンケート結果、国の動向等）

・7月30日（木） 令和8年度第2回こども分科会（素案）

・8月 令和8年度第3回こども分科会（最終案）

「加賀市公立保育園再編基本計画」答申

・8月～9月 最終案についてパブリックコメントを実施・公表

・10月 令和9年度 入園申込